

「私たちはジェンダー平等政策を求めます」キャンペーン

「ジェンダー平等政策」全政党公開アンケートの結果報告及びコメント

2012 年 11 月 30 日

「ジェンダー平等政策」を求める会

今回の政策リストは 2009 年女性差別撤廃委員会（CEDAW）勧告を（3 年に 1 度）もとに作成したものです（憲法と脱原発、防災復興を除く）。

したがって国連女性差別撤廃条約の遵守と遂行に対して各政党がどのくらい積極的かを測る指標となりえます。

CEDEAW 勧告については 2009 年度、過去 2 期 6 年にわたって進捗が見られなかったことに対し、強い勧告を受けました。今年 2012 年度について、日本政府は進捗がなかったことの報告を国連に提出したばかりです。

「ジェンダー平等政策」全政党公開アンケートは全 26 項目です。11 月 21 日に 14 政党（2 党に追加）に郵送（配達証明付）。回答期限は 11 月 27 日。

昨日までに事務局に届いた回答書は、到着順に「民主党」「国民の生活が一番」「社民党」「日本共産党」「公明党」「緑の党」「自由民主党」の 7 政党。

私たちのアンケートに答えてくれた政党には、まず感謝したい。

受け取ったことを確認して催促しても送ってこない政党も複数ありました。まだ回答が届いていない政党には、引き続き回答を催促しています。

回答書は、4 択で「賛成＋2 ポイント・どちらかといえば賛成＋1 ポイント・どちらかといえば反対－1 ポイント・反対－2 ポイント」として、「ジェンダー平等政策」指数を表しました。それ以外はポイントなしとしました。

ポイントが低い順に、「自民党」11、「公明党」38、「民主党」44。「日本共産党」50、「国民の生活が一番」51、「社民党」52、「緑の党」52、です。

現時点で無回答の政党は、「日本維新の会」「みんなの党」「減税日本」「国民新党」「新党きづな」「新党大地・新民主」「新党日本」「みどりの風」の 8 党。期日後の 28 日に発足した「日本未来の党」には、全政党アンケートを送付したところです。

全政党アンケートと並行しての「私たちはジェンダー平等政策を求めます」キャンペーンの呼びかけ人・賛同人は、11 月 29 日現在で 18 団体 253 人になりました。

「ジェンダー平等政策」全政党公開アンケートのコメント

- 1) 回答を2択でなく4択にした効果があった。どの政党もタテマエはほぼ一致しているが、わずかな違いが大きな違いになることがわかった
- 2) 回答をした全政党が「賛成」と回答した項目が「憲法」「防災復興」「ワークライフバランス」「マイノリティ・社会的弱者」である。どこが政権与党になってもこれらの政策はすすむはずであるが、現実にはすすんでいない。
- 3) 白紙回答の項目は、政策を明らかにしたくない事情があるのであろう。
- 4) 世界的な潮流であり意思決定の場への参加の切り札であるクオータ制に積極的でないのは自民党、民主党。公明は自助努力で女性を増やす方針か。
- 5) 配偶者控除を維持することで女性の低賃金と男性稼ぎ主モデルを維持したいのは自民党と公明党。
- 6) 夫婦別姓選択制、婚外子差別規定の廃止に反対の政党は自民のみ。
- 7) 婚姻年齢、再婚禁止期間のジェンダー非対称性など民法改正の全項目に反対し、女性差別的な家族制度を守りたいのも自民党。
- 8) 性暴力とDV禁止については民主党と自民党が同じ項目を選び消極的である。
- 9) 「慰安婦」対応ははっきり対照性が出た。自民は「村山談話」「河野談話」を引き継ぐと答えておらず、国家による謝罪も補償にも反対の意思をあきらかにしている。謝罪と補償は公明党も反対。国連人権委員会や CEDEAW の度重なる勧告を無視し、国際社会で孤立するつもりであろうか
- 10) 性と生殖の自由／権利 reproductive freedom/rights に及び腰なのは自民党、公明党、民主党（無回答）。
- 11) 性的マイノリティに対しても自民党は非寛容。公明党も同じ傾向。
- 12) 女性の地位向上のための国内推進機構の設置、女性及びマイノリティのための国内人権機関の設置についても自民党、公明党は消極的である。

ジェンダー平等政策については、自民党、公明党以外の他の5政党はほぼ推進することに合意している。外交、憲法における保守の立場が、ジェンダー平等政策にも一貫しているとすれば、回答が届いていない維新の会がもっとも最右翼に位置することになるだろうが、政策に一貫性がないために判断できない。

リベラル政党の連立政権ができるか、自公政権に戻るか、自公を中心とした第3極との連合が成立するかで、今後4年間のジェンダー平等政策は大きく影響を受けることが予想される。

今回のアンケート結果をひろく公表し、有権者の判断材料にしたい。

「私たちはジェンダー平等政策を求めます」政策リスト

➤ 相関図から読み取れること：

- ・ 脱原発に積極的な党ほど、女性差別撤廃にも積極的であることが分かる。(図1)
- ・ 脱原発と差別撤廃の相関については、性的マイノリティ(LGBT)に対する差別や社会的排除撤廃の項目についても、同様である。(図2)
- ・ 原発が差別の構造だと考えると、上記は納得がいく
- ・ 外国籍住民差別撤廃には各党熱心である。しかし、これについては差別撤廃の各論を見る必要があると思われる。一例として日本政府が国連でも問われている、外国人／女性の人権問題である「慰安婦」被害への対応との相関を見ると、ばらつきがでてくる。ここでは、自民・公明の消極性とともに、社民・共産・緑と生活、民主の違いが見えて興味深い。ことに、村山・河野談話を継承するかどうかについては自民のみが回答を避けており、賛成を表明した他党との違いが鮮明である。(図3)
「慰安婦」問題は最も激しい論争が起きている政策の一つであり、人権問題へどこまで踏み込んで対応するかの一つの基準としてとらえることができるのではないかな。
- ・ ワークライフバランスについては、各党非常に積極的なように見える。しかし、保育所の整備など対になるはずの、雇用・労働における女性の環境の整備については、ばらつきがでた。各党のワークライフバランスへの取り組みが、実効性を伴うものになるかどうか、このバラつきから予想できるのではないかな。雇用・労働環境の改善なしにワークライフバランスを達成することは難しい。(図4)

➤ チャートから読み取れること

- ◇ くぼんでいる項目がどんな性質のものをみていくと…
- ◇ 民主党は比較的ジェンダー平等志向があるといえる。ことに民法改正や女子差別撤廃条約関連、雇用・労働・ワークライフバランスに関連する項目は積極的だ。しかし、DV や性暴力、堕胎

罪の撤廃など、親密な関係や性に対する公権力の介入のあり方を変化させることには消極的な姿勢が目立つ。また、女性雇用のあり方と密接に関連する配偶者控除の廃止や、国会での折衝を経ずに実現できる自党のクォータ制などについても消極的である。

- ◇ **社民党と緑の党**はジェンダー平等志向が非常に強く、この点での政策はほぼ一致しているといえる。
- ◇ **国民の生活が第一**は、多くの党員がかつて在籍していた**民主**よりも、はるかにジェンダー平等政策に積極的である。ただし、「慰安婦」被害者にたいする謝罪と補償については態度を保留しており、論争になりやすい点については慎重な態度をとっていることがわかる。
- ◇ **共産党**については、クォーター制以外のジェンダー平等政策にすべて賛成している。クォーター制は、すでに達成済みとしつつも、「クォーター制」という制度に賛同しないため反対しており、独自路線があることを伺える。
- ◇ **公明党**は、自民党と比較した場合、よりジェンダー平等への志向があるといえる。クォータ制の導入などについても、すでに独自に達成済みである。ただし、現状を超えて女性の環境整備をすることに積極的かという点、「どちらかという点で賛成」というゆるやかな態度をとるものが目立ち、また配偶者控除廃止や「慰安婦」への謝罪・補償などのように、自民と同等かそれ以上に消極的な項目もある。
- ◇ **自民党**は労働・経済に直接関連しないジェンダー項目にはあまり関心をはらっていない。反面、子育て休業や男性の育児休業取得推進、貧困解消には積極的である。ただし、配偶者控除の廃止など、家族と関連する部分については消極的な姿勢が目立つ。
差別に対する態度については、**自民党**は総論賛成、各論反対の観があり、差別をなくすということについては賛成するものの、そのための法整備や条約批准、クォーター制や国内人権機関の設置・導入等の制度、環境整備については消極的か、積極反対の立場をとる。

ジェンダー平等政策を求める政策 政党アンケート結果を見て

赤石千衣子

ジェンダー平等政策の観点から言えば

満点は社民党・緑の党、次いで 国民の生活が第一、共産党、民主党、公明党、自民党ということになるのだろうか。

第3極のみんな、維新が答えていないが、これまでの発表からみれば、第3極はジェンダー平等には積極的でないと推測できるだろう。

一方日本未来の党についてはジェンダー平等度は高いと推測する。

意見の相違が明確に出るものは

- 脱原発
- クォータ制、
- 配偶者控除、3号被保険者の廃止
- 慰安婦問題
- 性暴力禁止法などである。

これからの日本社会は女性の労働力を活用し、男性正社員片働きシステムでは生き残れない。にもかかわらず、女性の労働力を抑制する配偶者控除の廃止は年金の第3号被保険者問題に及び腰の政党は、日本社会の現実を見据える能力に欠けるのではないか。今後も禍根と混乱を招く政策を行うだろう。

民主党が自民党に近づいたとはいえ、ジェンダー平等でみると民主党のほうがましと言える。

ただ、自民党が「2020年までに、あらゆる分野で指導的地位に女性が占める割合が、少なくとも30%程度」になるという202030に賛成を示したことに驚きと希望を見る。

ほとんどの政党が賛同したのならば、衆議院選挙後の新内閣に置いて、少なくとも3人あるいは4人の閣僚が女性であるはずだ。

政局が焦点になるとき、男女平等政策は後方に押しやられる。しかし、今抱える日本社会の問題を解決するためには、男女平等政策を進めることが必要である。このアンケート結果を受け止めて、投票を行ってほしい。

11月29日現在のよびかけ人・賛同人：18団体253人

※P-WAN サイトで <http://p-wan.jp/> 公開済みのもの

呼びかけ人・賛同人（団体）18団体

NPO G.Planning / NPO法人ウィメンズ アクション ネットワークWAN / NPO法人参画プラネット / 市民と政治をつなぐP-WAN / 女性を議会に 無党派・市民派ネットワーク(む・しネット) / すぺーすアライズ

/ 全国フェミニスト議員連盟 / 特定非営利活動法人スクール・セクシュアル・ハラスメント防止全国ネットワーク / 性暴力禁止法をつくろうネットワーク / 石原都知事の女性差別発言を許さず、公人による性差別をなくす会 / 「慰安婦」問題を考える市民の会 / 多摩女性学研究会 / 北京 JAC / 全国労働組合連絡協議会(全労協)女性委員会 / 男女平等をすすめる教育全国ネットワーク / クオータ制の実現をめざす会 / NPO法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ / 「慰安婦」問題解決オール連帯ネットワーク

呼びかけ人・賛同人（個人）253人

赤石千衣子(ふえみん) / 赤松良子(WINWIN) / 熱田敬子(WAN) / 甘利てる代 / 荒川ユリ子 / 安藤直実(恵那市議会議員) / いけぶち佐知子(吹田市議会議員) / 井上輝子(山川菊栄記念会) / 上野千鶴子(WAN) / 打越さく良(弁護士) / 小川まみ(P-WAN、む・しネット、桑名市議会議員) / 片山かおる(全国フェミニスト議員連盟共同代表、小金井市議会議員) / 金繁典子 / 加納実紀代(WAN) / 木村民子(NPO G.Planning) / 日下景子(全国フェミニスト議員連盟共同代表) / 楠瀬佳子 / 今大地はるみ(む・しネット、敦賀市議会議員) / 後藤尚子 / 篠崎咲子 / 渋谷典子(NPO法人参画プラネット、WAN) / 島村きよみ(P-WAN、む・しネット、日進市議会議員) / 菅井純子(NPO法人福井女性フォーラム) / 鈴木ふみ(堕胎罪撤廃キャンペーン) / 高橋ブラクソン久美子(埼玉県狭山市議会議員) / 竹信三恵子(ジャーナリスト、和光大学) / 田中喜美子((株)グループわいふ) / 角田由紀子(弁護士、明治大学法科大学院) / 寺町みどり(P-WAN、む・しネット) / 中西豊子(高齢社会をよくする女性の会) / 林やすこ(NPO法人参画プラネット) / 原ミナ汰(NPO法人共生社会をつくるセクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワーク) / 広瀬麻弥(株式会社つなかんぱにー) / 古久保さくら(大阪市立大学) / 皆川満寿美 / 牟田和恵(大阪大学、WAN) / むらき数子 / 山下清子 / 和田享子(WAN) / 青木利子(長野県下諏訪町議会議員) / 稲邑恭子(フェミックス) / 高橋陽子(KITの女たちの会) / 野村羊子(三鷹市議会議員) / 寺尾光身(てらおてるみ、名古屋工業大学名誉教授) / 相津幸子 / 遠山日出也(草津市民) / ひぐちのりこ(仙台市議会議員) / 丹羽雅代(女たちの戦争と平和人権基金) / 永野眞理(WAN) / 永井よし子(公人による性差別をなくす会) / 呉羽まゆみ(む・しネット、木津川市議員) / 星野智恵子(冬芽工房) / 伊藤冴子 / 秋本

のり子（市川市議会議員）／齋藤義子／夏井町子／遠藤真子（八王子市）／満田康子（WAN）／早苗麻子（萌クリニック）／岩橋百合（市民ネットワーク千葉県ジェンダー部会）／森下育代／酒井はるみ（茨城大学名誉教授）／熊田一雄（愛知学院大学文学部）／鈴木伸（女性と政治を考える会）／榊原千鶴（名古屋大学）／高橋晶子（司書）／黒木雅子（京都学園大学）／赤沢千鶴（WAN）／屋嘉比ふみ子（ペイ・エクイティ・コンサルティング・オフィス（PECO））／田中弘子（NPO法人青森県男女共同参画研究所）／畝尾よし江（足立区「さんかく」）／片野真佐子（大阪商業大学）／黒岩秩子（社会福祉法人理事長）／柚木康子（全石油昭和シェル労組・均等待遇アクション21事務局）／小林純子（P-WAN、む・しネット、安曇野市議会議員）／谷森櫻子（にいざ・女と男の平等ネットワーク）／神永れい子（クオータ制の実現をめざす会）／室田元美（フリーライター）／金田淳子／宮田光子（WAN、湘南VIRAGO）／山口泰子（ふえみん婦人民主クラブ）／小園弥生（団体職員）／塩川希代子（千葉県高校教員）／山口寿美（WAN）／彦坂諦／田中裕子（海老名アサーティブネスの会）／石原みき子（環境とフェミニズムの英会話寺子屋）／永山聡子（一橋大学）／平野かおる（島本町議会議員）／小沼稜子（ねりま24条の会）／中村奈津子（NPO法人参画プラネット）／小門穂（大学非常勤講師）／大山千恵子（ブログ「千恵子@詠む」）／瀬地山角（東京大学）／吉田容子（弁護士、立命館大学法科大学院）／細谷実（ジェンダー史学会）／森田登喜子（NPO法人ウィル21フォーラム）／伊藤静香（特定非営利活動法人参画プラネット）／三輪敦子／海老原暁子（女性学会）／桑原糸子（NPO法人かながわ女性会議 アクティブ シニアの会）／谷恵子（女性ユニオン東京）／高木澄子／杉山智子／木村涼子（大阪大学）／吉井みなこ（選択的夫婦別姓実現協議会）／新田幸子／遠矢家永子（NPO法人SEAN）／林鉦治（ウニタ書店）／島岡まな（大阪大学）／井上たか子（獨協大学名誉教授）／坂上香（映像作家）／白土侑希（しらつち ゆうき）／島尾恵理（弁護士）／日下部京子（アジア工科大学院）／大橋秀子（大学非常勤講師）／菅本麻衣子／板倉由実（弁護士）／さとうももよ／五十嵐美那子（生活思想社）／秋山洋子（中国女性史研究会）／橋本美由紀（法政大学）／佐竹久仁子／大橋涼子／守如子（関西大学）／山本佳代子／柘植あづみ（明治学院大学）／清水絹代（都留市議会議員）／加堂妙子（ふえみん大阪）／矢内愛子（日本病院ボランティア協会）／矢内義顕（早稲田大学）／清田乃り子（日弁連両性の平等に関する委員会）／山根純佳（山形大学）／加藤秀一（医療労働者）／井上ミチコ／萩原邦子／若林佑子／長田満江（常陸24条の会）／前田純一（非戦の市民講座）／中塚圭子（WAN）／橋本弥寿子（株式会社橋本新企画）／小林昌子（大阪府和泉市議会議員）／飯田さと子（V-WAN）／荒木菜穂（日本女性学研究会）／京楽真帆子（滋賀県立大学）／片岡栄子（ふえみん婦人民主クラブ）／曾根暁子（大学非常勤講師）／星野邦子（元魚沼市議会議員）／岩田すみ子（岐阜市女性問題連絡会）／高木睦子（女性会議富山県本部、シャキット富山35）／戒能民江（お茶の水女子大学名誉教授）／二場美由紀（社会福祉士）／徳永桂子／正村紀美子（芽室町議会議員）／仲村久代（認定NPO法人サバイバルネット・ライフ）／山下泰子（国際

女性の地位協会) / 笹谷春美(北海道教育大学名誉教授) / 木内美知子(NPO法人女のス
ペース・ながおか) / 渡辺裕子(吹田市) / 濱野京子(児童文学作家) / 野田真智子
(「BetterCare」編集長) / フックス真理子(ひゅうまねっとe.V.) / 成相真理子 / ユ
ール洋子 / 杉田聡(帯広畜産大学) / 渋谷登美子(嵐山町議会議員) / 重原惇子(NPO
法人参画プラネット) / ゆのまえ知子 / 林美枝子 / 牧田真由美 / 奥野しのぶ(NPO法
人こどもステーション) / 谷口真由美(大阪国際大学) / 豊田真穂(関西大学) / 山田典
子 / 堀紀美子(NPO法人参画プラネット) / 高島順子 / 渚上陽子(弁護士、さかきばら
法律事務所) / 大沼もと子(Wen-Do Project) / 堀江節子(コリア・プロジェクト@富山)
/ 佐藤由紀子(弁護士) / 金田忍(行政書士) / 時寛達枝(世界女性会議岡山連絡会) /
中西とも子(箕面市議会議員) / 太田啓子(弁護士、横浜弁護士会) / さとうゆみ(む・し
ネット、長久手市議会議員) / 柏原登希子(ふえみん編集部) / 大熊由紀子(福祉と医療・
現場と政策をつなぐ「えにし」ネット) / 石河敦子(WAN) / 福多唯(Women's Self Defence
Wen-Do) / 角田三佳(大月書店) / 中野理恵 / 船橋里美 / 宮本有紀 / 米田佐代子(女
性史研究者) / 林香里(東京大学大学院情報学環) / 中道仁美 / 永井好子 / 桂容子 /
三隅佳子(北京JAC九州) / 江尻美穂子(東京YWCA) / 大塚恵美子(東村山市議会議員)
/ 石崎節子(ねりまジェンダー研究会) / 石川康子(多摩女性学研究会) / 河合優子
(立教大学) / 堅田香緒里(埼玉県立大学) / 山下梓(ゲイジャパンニュース) / 戸川雅
子(北京JAC会員) / 伊藤朝日太郎(弁護士) / 松下光恵 / 笹川あゆみ(夫婦別姓選択
制実現協議会) / 元百合子(大阪女学院大学) / 下間啓子(NPO法人旅とぴあ北海道) /
宮田裕子 / 坂本保子(前豊中市議会議員) / 小松晴子 / 日吉郁美(北京JAC) / 西倉
実季(同志社大学) / 越堂静子(ワーキング・ウイメンズ・ネットワーク) / 山下律子 /
小笠原三枝子 / 正井禮子(NPO法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ)
/ 秀村知子(ウィメンズネット神戸) / 三谷順子 / 大山純子(男女平等条例を推進する会)
/ 別所弘基(法政大学大学院) / 三島浩昭(日本心のサポート協会) / 高島基治 / 本多須
美子 / 渋谷路世(NPO法人野の花ネットワーク) / 長尾和美(近畿大学豊岡短期大学) /
茂木美知子(NPO法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ) / 一戸盟子 /
伊藤るり(一橋大学) / 西明 久恵(社会福祉士、団体職員) / 上田裕子(WWN) / 榊
原富士子(弁護士) / 西野恵子(東京シュレー葛飾中学校) / 中西綾子(時をみつめる会)
/ 大石有紀子 / 池田靖子(民主教育研究所「ジェンダーと教育」) / 米田真澄(神戸女学院
大学) / 川島慶子(名古屋工業大学) / 平井紀子(京都府マンション管理士会) / 山田
育男(生活困窮者連絡協議会) / 小浜正子(日本大学) / K I T O K O K E I(大学院生)
/ 大和田未来 / 合場敬子 / W・Sひょうご / あがたあきこ / 間谷純(結まーるスタヂ
オ・愛知淑徳大学) / 百瀬まなみ(百瀬まなみ行政書士事務所) / 西村かつみ(ワーキング・
ウィメンズ・ネットワーク) / 服藤早苗(埼玉学園大学教員)

(2012. 11. 29 現在 18団体253人)